

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	国語					授業形態	講義		
科目コード	750080	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美								
授業概要	<p>この授業の目的は、小学校国語科の内容について理解・習得することです。 小学校国語科では、子ども達の言語生活に基づきながら、国語力を育成していく必要があります。国語力は「基盤的言語力」「文脈的言語力」「主体的関与」の三要素から構成されます。 授業では、この三要素を視点として、小学校国語科で扱う内容について学びながら、言語活動を通じた学習の重要性について考えます。</p>								
関連する科目	<p>事前に「言葉と文章」を受講しておくことが望ましい。 履修後に「教科教育指導法（国語）」を受講することが望ましい。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。 授業の前半では、各テーマについての講義や教材文の分析を行います。 【知識・理解の獲得、確認】 後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深めます。 必要に応じて、レポートや小テストにより学習状況を確認します。 【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】 毎回の授業終了時には「学習の記録」を書き、自身の学びについて振り返ります。 【態度・志向性の育成】</p>								
授業計画 【第1回】	<p>国語力とは何か 国語力を構成する要素について確認し、伝え合いの仕組みと国語力について考えます。</p>								
授業計画 【第2回】	<p>文字と表記 ①平仮名と片仮名 日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。</p>								
授業計画 【第3回】	<p>文字と表記 ②漢字 日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。</p>								
授業計画 【第4回】	<p>文字と表記 ③文字を書くこと 日本語表記に用いる文字の種類とその由来（歴史）について学びます。</p>								
授業計画 【第5回】	<p>小学校学習指導要領 国語編 国語科のあり方と学習指導要領について学びます。</p>								
授業計画 【第6回】	<p>語彙力・文法力 基盤的国語力としての語彙力および文法力（接続表現、指示）について学びます。</p>								
授業計画 【第7回】	<p>音声言語力 基盤的国語力としての音声言語力について学びます。</p>								
授業計画 【第8回】	<p>「読むこと」 ①文学的文章／文脈的理解 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。</p>								
授業計画 【第9回】	<p>「読むこと」 ②文学的文章／主体的関与 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。</p>								
授業計画 【第10回】	<p>「読むこと」 ③説明的文章／文脈的理解 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。</p>								

授業計画 【第11回】	「読むこと」 ④説明的文章／主体的関与 「読むこと」について、教材文の種類別に、主体的関与および文脈的理解について学びます。
授業計画 【第12回】	「書くこと」 ①主体的関与 「書くこと」と国語力について学びます。
授業計画 【第13回】	「書くこと」 ②文の種類 「書くこと」と国語力について学びます。
授業計画 【第14回】	「話すこと」 ①主体的関与 「話すこと」と国語力について学びます。
授業計画 【第15回】	「話すこと」 ②国語力 「話すこと」と国語力について学びます。
授業の到達目標	1. 小学校国語科の教育内容が理解できる。 【知識・技能の育成】 2. 国語力について「基盤的言語力」「文脈的言語力」「主体的関与」の点から整理して考えることができる。 【汎用的技能の育成】 3. 自身の話す・聞く・読む・書くなどの基本的能力向上のため、意欲的に取り組むことができる。 【態度・志向性の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	授業時に予習教材を提示します。次の授業までに確認してください。(1時間程度)
授業時間外の学修 【復習】	授業後には、授業の要点を整理するとともに、「学習の記録」に自らが記した「問い」について、関連した図書・資料などを読み、自身の考えを深めてください。(30分程度)
課題に対する フィードバック	小テスト、レポート、最終試験は、評価後、返却し解説します。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み(学習の記録) 30点 レポート 20点 最終試験 50点
テキスト	『小学校学習指導要領解説 国語編』文部科学省
参考書	『国語教育の新常識-これだけは教えたい国語力』森山卓郎・達富洋二編著(2010)明治図書、(1,600円+税) その他必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	